事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	都市整備部都市計画課			■担当係	系 建築指導係		
■評価事業名称	住宅リフォーム支援事業						
■事業開始年度	平成23年度						
■評価事業コード	070400 - 337 ■会計区分 一般会計						
	■政策 03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり						
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策 02 活気ある商工業と観光の振興						
	■施策	■施策 03 活気ある商工業の振興					
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業) ■政策・業務区分 政策				政策		
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの						
■法令等の名称							
■関連計画の名称							
■事 業 の 目的と概要	市内の住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化jと地域の消費喚起を図るため、市 民の住宅リフォーム工事に対し補助金を交付するもの。						

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	平成 27 年度事業計画	平成 27 年度事業量実績
01 住宅リフォーム支援事業	市民及び市内 の住宅関連業 者	プレミアム商品券12万円分×150人	158件、補助金額は14,749,000

3. 投入コスト情報 (単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費				16,059	
人 件 費				3,351	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				19,410	

4. 評価指標等の状況

指標 コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01 住宅 件数	リフォーム支援事業補助				158	補助件数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■日福泽忠作和	達成状況の分析			問題点•課題等		
一■目標達成状況 ————————————————————————————————————	予算上全て使い切ってはいないが、これは達で取止めた方などがいたためで、受付時点で 満額を使った形であった。			大抵のリフォームで受けることができ、お得感が あり人気はあったが、効果を計ることが難しく今 後も行うべきか判断が難しい。		
○ B. 概ね順調						
○ C. 遅れている						
一1. 直接的な受益者の範囲 —	一	業廃止の影響 ――――	_	─3. 国・県・民間との競合関係の有無 ─		
● 不特定多数に及ぶ	0 +	てきな不利益やリスクが生じる		○ 類似の事業はない		
○ 特定されるが多数に及ぶ	_ a	る程度の不利益やリスクが生じる	5	● 類似の事業はあるが競合はない		
○ 特定少数に限定される	● 不利益やリスクは小さい			○ 類似の事業があり競合する		
─4. 事業への二 一 ズの変化 ──		- ├─5. 施策の改善需要度(市民)	意識調	周査) - 「6. 施策の優先度(市民意識調査) —		
○ ニーズが高まっている	○ 順位が高い		◉ 順位が高い			
◉ ニーズは変わらない		● 順位が中程度		○ 順位が中程度		
○ ニーズが低下している又は	○ 順位が低い		○順位が低い			
一7. 他市町村に比較しての優位	生 ———	―8. 実施主体の代替性 ―――				
○ 先進的またはユニークな事	● 民間委託等の拡充は難し	,١	● 今以上の効率化や改善は難しい			
● 他と同程度の事業である	○ 民間委託等の拡充が十分	に可能	じ ○ 効率化や改善を図ることは十分に可能			
○ 遅れている事業である	○ 全部委託や実施主体の移	行が可	可能 ○ 効率化や改善の余地が大きい			
■事業の見直し方策			今後の	·)方向性 ————————————————————————————————————		
国からの補助があり行うことになっ 要。	ったが今後と	うするか検討が必	I. j	拡充 ⑥ Ⅳ. 廃止・休止		
			, , Ⅱ. ¥			
) III. #	\mathbf{c}			